

令和3年度第1回 恵庭市史編さん委員会会議 議事録

日 時：令和3年4月22日（木） 10：00～10：50

場 所：市民会館1階 第1会議室

出席者：＜委 員＞ 北越会長、山田副会長、曾根委員、中泉委員、山口委員、江里口委員、
高橋委員、宮田委員、横道委員

＜事務局＞ 企画振興部長 大槻、企画振興部次長 大西、広報課長 橋場、
広報課主査 石岡、広報課会計年度任用職員 山田

＜業務受託者＞阿部（北海道支社長）、対馬

傍聴者：無し

＊以下、出席者の発言内容については要旨を記載。

1. 開 会

2. 委嘱状交付

※平成26年3月26日付で委嘱した委員の任期が令和3年3月末で終了していたため、改めて令和3年4月1日から令和4年3月31日までの任期の委嘱状を交付。なお、北越委員は令和3年3月末で副市長を退任したが、引き続き会長職の委員として残っていただき、4月1日より就任した横道副市長については、行政側からの代表としてこれより委員を務めていただくこととした。

●交付後、市長より一言

市史編さんにつきましては、若干進捗が遅れ気味でありますけれども、いよいよ今年完成できる見込みとなっております。これまで委員の皆様方には、大変熱心にご審議いただきまして、本当にありがとうございます。昨安市制50周年ということでその記念事業の1つとして、この市史編さんを行っております。長い恵庭の歴史、そして前回の市史は昭和54年に出来たということで、それ以降の事柄について纏まったものがありませんでしたので、熱心にご審議いただいて、良いものになるよう願っているところであります。日頃から委員の皆様方には、市政各般にわたりご支援ご協力頂いておりますことに、改めて感謝を申し上げまして、宜しくお願いしますとのご挨拶とさせていただきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

●市長退席後、新旧副市長より一言

～北越前副市長

おはようございます。挨拶が遅れましたけれども、3月末で副市長を退任いたしました。事務局の方から、市史完成まで間近であるため、引き続き委員を務めてもらいたいとの話が

あり、お受けすることにいたしました。職員時代を含め、長い間、今日ご出席の皆様には本当にお世話になりながら、何とか務めてこれたと思っており、皆様のおかげということで感謝しております。これからもまた一市民として恵庭市の発展を見守っていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

～横道新副市長

おはようございます。4月1日より副市長に就任いたしました横道でございます。前職は総務部長を3年間務めさせていただきました。そういった行政経験を生かしながら、市政の方を進めていきたいと思っておりますので、皆様のご協力を宜しくをお願いいたします。お世話になります。

●事務局紹介

3. 会長挨拶

それでは、会議の開催に当たりまして、改めて一言ご挨拶を申し上げます。今年度第1回目の編さん委員会会議でございますけども、市長も先ほど話されていた通り、市制施行50周年記念事業として、本来であれば昨年の9月に完成ということでございましたが、残念ながら遅れており、引き続き皆様に委員をお引き受けいただきまして、お力添えを頂きたいと思っております。事務局によりますと、今年度は本日を含めて3回程度の会議を予定しているとのことですので、皆様方のご協力をお願いいたします。本日は事業報告、あるいは事業計画、さらには市史原稿の内容確認と、盛りだくさんでございますけれども、皆様方のご協力を得て進めて参りたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

*これより北越会長が議長となり、議事開始。

4. 報告事項

(1) 市史編さん業務の委託期間について

～事務局（橋場課長）より説明

前回の編さん委員会会議におきまして、令和2年度内の完成が中々難しいということで、年度を繰り越しますということで皆様にご承認いただいたところでございます。その後の議会への報告、さらには議会での予算の繰り越しの議決もいただきまして、今年の9月30日までの契約変更をいたしました。その報告をここでさせていただきたいと思っております。それと今日、ぎょうせいの北海道支社長がお見えですので、支社長からもご挨拶させていただきたいと思っております。

～株式会社ぎょうせい北海道支社長 阿部氏より説明

只今事務局様からご紹介いただきました、株式会社ぎょうせいの阿部と申します。この度私共がお受けしております恵庭市様の市史編さんの業務、私共の執筆作業の遅れで大変なご迷惑をお掛けいたしました。編さん委員の皆様におかれましては、当初予定していた期間

を大幅に越えて、こういった形でお集まりいただくということで、大変ご迷惑をお掛けしている、このことにつきまして改めてこの場でお詫びを申し上げたいと思います。大変申し訳ございませんでした。いただいている委託期間、これからしっかり進めて参りますので、宜しく願いいたします。

⇒委員一同 了承

(2) 前回会議にて挙げた意見に関する検討状況について

～事務局（橋場課長）より説明

●市史原稿の内容について（第5編「産業」－第5章「商業・金融」）

- ・文章中、恵庭「村」「町」「市」の表記が時代背景と合致しない部分があったため、修正をかけていく予定である。
- ・「恵庭市の主な商店街と振興策」について、この中に出来れば「フレスポ恵み野」や「黄金ショッピングセンター」を書き加えてほしいという意見があったため、加筆する方向で調整している。

●市史原稿の方向性について（第2編「近世の恵庭」－第3章「近世のイサリ シママツ」）

委員の皆様より、歴史観が感じられない、どこから引用したのか分からない文章が羅列されている、前回の市史発刊後に新しい「アイヌ史観」が出てきているがそれを踏襲していない、同編第2章の記述内容との整合性が無いとのご意見をいただいたため、今、業務受託者へ変更するよう要請している。また、市史編さんの基本方針に謳っている、広く市民に親しまれること、そして平易な文章で読みやすいものになるようにといったことから外れているため、その辺りの調整もお願いしている。本章に関して、結論としては、前回の市史をベースにして同じ時代のところを再チェックし、表現的に変える必要があるものは修正する、また研究が進んで新たな項目が出ているものについては追加する、第2章との連続性を考慮して記述してもらうというような方向性でいきたい。後日修正した原稿を業務受託者からもらい事務局でチェックし、再度委員の皆様にお送りしたいと思っている。

⇒委員一同 了承

(3) 令和2年度事業報告について

～事務局（橋場課長）より別紙資料を用いて、「編さん委員会の開催」「市史編さん事務の推進」「市民への周知の取り組み」について説明し、委員一同了承。

5. 協議事項

(1) 令和3年度事業計画（案）について

～事務局（橋場課長）より別紙資料を用いて、「編さん委員会の開催」「市史編さん事務の推進」「市民への周知の取り組み」について説明し、委員一同承認。

(2) 市史原稿の内容について

①第5編「産業」－第1章「産業概況」

※協議開始前に事務局(橋場課長)から以下のとおり文言の修正等に関し補足説明を行った。

- ・ p.4上段2行目
「～制定するとともに、」→「～制定し、」
- ・ p.7下段1行目
「につなげるの」表記を削除
- ・ p.7下段4～7行目
「ネットワークは、それまでの『えにわ食農交流フェスタ』をさらに発展・拡大させ、『食』を主体とした取り組みから、恵庭市の産業全般と企業の活力を幅広くPRする場とし、市内企業の優れた製品・技術を紹介する総合的な産業イベントに仕立て直した。」
→「ネットワークは、それまでの『えにわ食農交流フェスタ』を、『食』を主体とした取り組みから、恵庭市の産業全般と企業の活力を幅広くPRする場としてさらに発展・拡大させ、市内企業の総合的な産業イベントに仕立て直した。」
- ・ p.7下段22～23行目
「東京や名古屋で」→「本州で」
- ・ 新型コロナウイルス関連で現在市が行っている様々な経済対策について、節を設けて本章で記述するか、通史で記述するか次回の会議までに検討し、報告したいと思う。

＜協議結果＞

●記述内容の時代と「市」表記の関係について、以下の「市」表記は取ることが望ましい。

- ・ 4ページ上段12行目「恵庭市における」の「市」
- ・ 4ページ上段17行目、18行目、20行目「市人口」の「市」
- ・ 4ページ上段21～22行目「恵庭市」の「市」
- ・ 6ページ上段9行目「恵庭市」の「市」
- ・ 6ページ上段10行目「市の人口増」の「市の」

①第5編「産業」－第2章「農業」

※協議開始前に事務局(橋場課長)から以下のとおり文言の修正等に関し補足説明を行った。

- ・ 全体的なことと言うと、今回の原稿には畜産分野が一切載っていない。当分野は別途原稿があがってきているため、次回会議で協議出来ればと考えている。
- ・ 図表中、数字が入っていない箇所については、現在市内部及び外部団体に照会をかけているところであり、次回会議で報告出来ればと考えている。
- ・ JA道央、恵庭土地改良区等に、現在原稿校閲を依頼しており、今回集約が間に合わなかったため、次回会議で報告出来ればと考えている。
- ・ p.2上段21行目「武四郎」表記について、他編では人名を苗字で表記しているケースも

あるため、今後統一していきたいと考えている。

- ・ p.3下段18～19行目に「40町（39.7ヘクタール）」と表記されているが、町をヘクタール換算した際に端数が生じるため、全編通じて数値に「約」を付けることにする。
- ・ p.5下段11行目「米作」表記について、文章中、米作りを意味する語句が「米作」「稲作」「水稻」と混在しているため、統一した表記にしたいと考えている。
- ・ p.7下段10行目
「～回復に向かい、日中戦争が勃発した12年～」
→「～回復に向かった。日中戦争が勃発した昭和12年～」
- ・ p.8～9「島松におけるばれいしょ『農林1号』の誕生」について、野村さんという方から提供された文章を若干修正し載せているが、タイトルの「ばれいしょ『農林1号』」は文章中の最後に出てくるだけなので、タイトルを変更したいと考えている。
- ・ p.17上段3行目、16行目
「この事業は、」表記を削除
- ・ p.19上段14～17行目
「GATT（関税及び貿易に関する一般協定）」「ウルグアイ・ラウンド（新多角的貿易交渉）」表記について、括弧内の日本名を先に表記する。
- ・ p.21下段1行目
「～経済のグローバル化に伴う農畜産物の輸入拡大などより～」
→「～経済の国際化に伴う農畜産物の輸入拡大などにより～」
- ・ p.38下段14行目「漁橋」表記について、前回の市史も同じ表記になっていたが、当橋が今現在無い。恐らく前回の市史発刊時も無かったと思うが、建設部等に今確認中である。恐らく「漁川橋」ではないかと思うが、今調査中であるため、次回会議で結果を報告したいと思っている。
- ・ p.52上段「恵庭市ベストファーマーズクラブ」について、過日委員の方々へ原稿を事前送付した後に、別紙のとおり高橋委員から追加の情報をいただいたため、参考にして追記したいと考えている。
- ・ p.52上段20行目
「道内農場視察」→「道内外農場視察」

<協議結果>

- 米作りの用語について、作物栽培ということであると、「稲作」というのが普通の表現ではないか。
- 2ページ10行目の「場所制度」という表記について、歴史用語では「場所請負制度」が通常の表現であるため修正を要する。
- 「市」表記の扱いについて、本原稿内にも何か所か出てきているので、確認を願う。
- 「市営牧場」と「畜産共進会場」の2施設について、本原稿もしくは畜産分野の原稿に加筆する。

6. その他

※事務局（橋場課長）より説明

次回会議は6月の最終週あたり、定例市議会が終わったあたりに開催したいと考えている。その後は8月くらいに開催し、そこで全部協議し終えようと思っている。ただそうすると先ほどの事業計画の原稿を2回で見るということになるが、宜しく願いしたいと思う。

7. 閉 会